平成20年度　施策評価シート

◆総合計画における位置付け等

平成20年6月　日記入

基本目標	躍動し　魅力あふれる交流拠点都市をめざして	施策コード	32110
政策名（章）	第2章　質の高い都市基盤の整備を進めます	評価担当局	都市建設局
基本施策名（節名）	第1節　骨格幹線道路網の整備	施策所管課	国県道対策課
施　策　名	広域的幹線道路の整備	課長名	熊坂　誠

1　施策の目的・概要（目的はわかりやすく記入）

・市民の日常生活圏の拡大や産業経済活動の広域化に対応するため、都県の区域境界を越えた広域的な交流の軸となる幹線道路の整備を促進する。
・市内の拠点間等を有機的に結ぶ幹線道路のネットワークを構築するため、都市計画道路等の計画的、重点的な整備を進めるとともに、将来の交通需要への
　対応を図るため、新たな都市計画道路の検討を進めます。
　・首都圏中央連絡自動車道（さがみ縦貫道路）については平成24年度末を完成目標に事業中。
　・圏央道のアクセス道路である（都）相模原町田線及び津久井広域道路（（都）相原城山線、（都）城山津久井線）が事業中。

2　事業費・人員

（単位：千円）

年度	平成17年度（決算）	平成19年度（決算）	増減の主な理由
事業費	733	840	津久井4町合併により1協議会加盟、その他協議会年会費の増減による。
人件費	47,495		
市民一人あたりの事業費（単位：円）	1	1	
合計	48,228	840	

＊人件費は、職員一人あたり　H17：805万円、H19：805万円として算定。人口は、66.7万人（H18.4.1現在）、70.6万人（H20.4.1現在）とした。

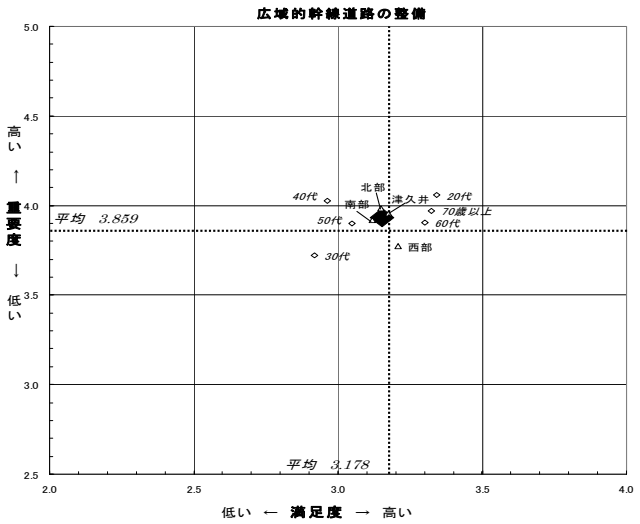
3　成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	目標値の考え方（根拠）
指標1	（仮）相模原ICアクセス道路 （都）相模原町田線 予定区間の整備済み延長	既整備完了区間の延長	相模原ICの供用開始予定が平成22年度であり、同ICの供用開始時期に合わせて整備を完了する必要があるため。（L＝1，120m）
指標2	予定区間の整備済み延長 （合併により区間の変更）	既整備完了区間の延長 （仮）城山ICアクセス道路（津久井広域道路） （都）相原城山線・（都）城山津久井線	城山ICの供用開始予定が平成24年度であり、同ICの供用開始時期に合わせて整備を完了する必要があるため。（L＝5,400m（3,240m+2,160m））
指標3	さがみ縦貫道路 （仮）相模原IC～都県境における用地取得率	区間内の必要な用地に対する用地取得済率	さがみ縦貫道路を含む圏央道は、国において目標宣言プロジェクトに基づき整備を行っており、当該区間の供用開始予定が平成24年度であるため。
指標4			
指標5			

	基準年	基準値	H19		H20		H21		H22	
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
指標1（単位：m）	H17	200.0	910.0	200.0	980.0		1,050.0		1,120.0	
事業費／人員										
指標2（単位：%）	H17	1330.0	4114.0	1680.0	4371.0		4628.0		4885.0	
事業費／人員										
指標3（単位：%）	H17	61.0	75.0	73.0	82.0		89.0		95.0	
事業費／人員										
指標4（単位：m）										
事業費／人員										
指標5（単位：%）										
事業費／人員										

4　市民満足度調査結果（平成20年度実施分）

〇この施策の満足度は3.152で121施策の中で57番目。
〇重要度は3.932で52番目である。
〇改善要望度は0.0702で47番目である。
〇年齢別にみると、満足度は20代で最も高く、30代で最も低くなっている。重要度は20代で最も高く、30代で最も低くなっている。
〇地区別にみると、満足度は西部で最も高く、南部で最も低くなっている。重要度は北部で最も高く、西部で最も低くなっている。



5　1次評価（2つの視点から評価を行う）

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H18評価点	前回（H18）評価結果との比較分析
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4 (2) 1	4 2 (1)	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 (2) 1	4 2 (1)	
合計			評価結果に基づく区分（2項目の合計点数による） A（6点以上）　B（5点・4点）　C（3点以下）	1次評価 B

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6　課題と解決策（現状または、評価結果から）

課題	さがみ縦貫道路及びアクセス道路の整備を行うのは国や県であるため、両事業者の施策や予算の都合により事業の完成時期は左右される。また、道路は相模原市内のみで完結するものではないため、周辺市町及びその地権者等の事情も影響する。
解決策	事業者がより円滑に事業が行えるよう、整備促進要望や地元調整等、早期完成に向け積極的に協力をする。 事業者に対しては、積極的かつ効果的な要望を行う。

7　2次評価及び意見（1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入）

	2次評価 B

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8　3次評価及び意見（評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入）

ハード整備の施策については、施策評価対象として評価を継続するか検討を要する。	3次評価 B

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

広域的幹線道路の整備

コード	32110

構成事務事業一覧

単位：千円

事務事業担当課	構成事務事業	H19決算見込（事業費）	H20予算（事業費）	H21見込額（事業費）	事業効果の高い指標番号	前回の優先順位	H17人員（人）	H17決算額（事業費）	H17合計（人件費含む）
~~国~~	~~中央道の改良整備~~						~~0.10~~		~~805~~
~~国~~	~~圏央道（さがみ縦貫道路）の整備~~						~~1.00~~		~~8,050~~
~~国~~	~~国道16号改良整備~~						~~0.60~~		~~4,830~~
~~国~~	~~国道20号改良整備~~						~~0.10~~		~~805~~
~~県~~	~~津久井広域道路の整備~~						~~0.70~~		~~5,635~~
~~県~~	~~(都)相模原町田の整備、延伸~~						~~0.50~~		~~4,025~~
~~県~~	~~各国道県道の改良整備~~						~~0.30~~		~~2,415~~
~~県~~	~~相模野幹線（仮称）~~						~~0.10~~		~~805~~
~~県~~	~~横浜多摩幹線（仮称）~~						~~0.10~~		~~805~~
国県道対策課	（都）相模原二ツ塚線及び水窪座間線建設促進協議会	80	80	80			0.20	80	1,690
国県道対策課	神奈川県都市計画街路事業促進協議会	200	200	200	3		0.10	260	1,065
国県道対策課＜事務局＞	関東国道協会	40	40	40	3		1.30	40	10,505
国県道対策課	首都圏中央連絡道路建設促進期成同盟会	80	80	80	3		0.10	80	885
国県道対策課	神奈川県道路利用者会議	155	137	137	3		0.10	88	893
国県道対策課	国道412号建設改良促進協議会	100	100	100			0.10	0	0
国県道対策課＜事務局＞	相模原市幹線道路網整備促進協議会	185	150	150	2		0.60	185	5,015
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
		840	787	787			6.00	733	48,228